

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

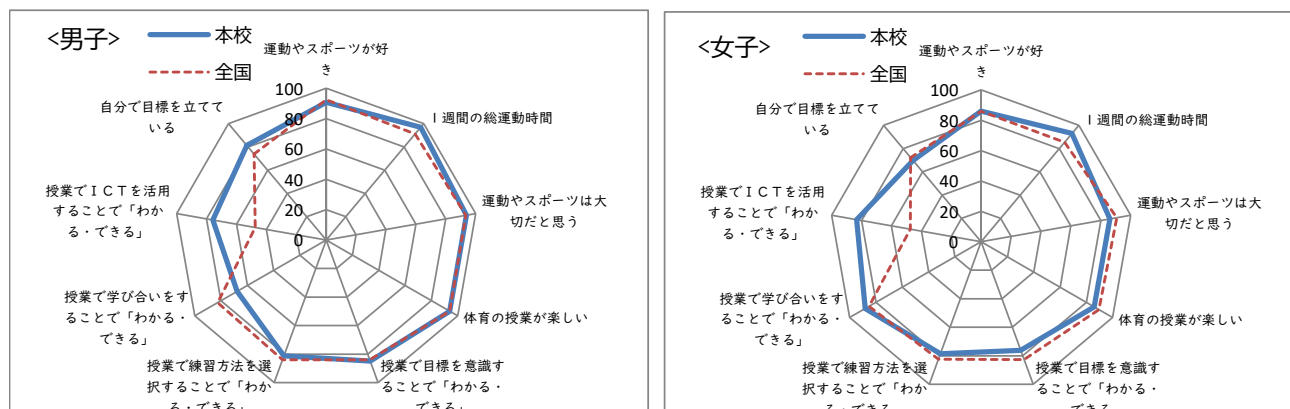
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○質問項目のうち、「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがある」「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、できたり、わかったりすることがある」と答えた児童は、男女ともに全国平均よりも高い数値となった。これは、5年生の体育科学習を専科指導で実施することで、専門性を生かした指導の成果といえる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

○引き続き、体育『すきっちゃんプログラム』を活用し、各学年の課題に応じた準備運動を実施していく。
○3年生以上の体育科の学習では、専科指導を導入している。今後も専門的な指導により効果的に児童の体力を高めるための授業改善に取り組む。
○学習の振り返りをしっかりと行い、次の学習に対する見通しや活動の目標をもたせ、主体的な学習となるようにする。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

○スポーツ委員会が休み時間に、運動場で安全に互いの距離を保ちつつ、運動に親しむことができるよう見守り活動を行った。
○体育科の学習で行っている運動に応じて、学級貸出用のボールの種類を変更したり、運動場にラインを引いてコートを整備したりすることで、体育科の学習が休み時間等の運動に生かされるよう工夫した。
○今回の結果をHPに掲載し、通信等で知らせるなどして、生活習慣の改善を図るよう促す。